

道徳授業レポート

河村 栄二

昨年度から道徳授業を研究してきた河村先生が、昨年度実践した教材をもとに2年2組で授業しました。何でも一番が大好き、でも整理整頓の苦手なカバ吉くんが、給食に遅れてみんなに大迷惑をかけるという話をもとに、気持ちのよい生活を送るにはどうしたらよいかを考える授業でした。

1 子供の身近なところから

道徳の導入は身近なところから。今回はトイレのスリッパの写真から入りました。「どっちにいきたい？」という問いから、整った状態が気持ちよいことに気づかせます。つかみはOK。



2 ロールプレイでカバ吉くんの心情に迫る

カバ吉くんの話をした後、カバ吉くんの心情を引き出すためロールプレイを行いました。河村先生の話し方がとてもうまく子供たちはすっかり話の中に入り込み、話の途中でカバ吉を非難していました。それだけに、ロールプレイでもなかなかカバ吉の心情に迫るのは難しかったようです。ここで、もっと悪のささやきがあると少し違って、子供たちとの議論になったかも。時には教師が悪者になることもあってよいのでは。



3 よさの価値付けで実践的意欲を図る

この授業、なんとと言っても終盤のまとめ方がすばらしかったです。2年2組は整理整頓がよくできているクラスです。事前に整頓されたロッカーなどの写真を見せながらできている自分たちに気づかせます。これで、子供たちは自信満々、更にやる気になっていました。できてない所に気づかせることも大切ですが、このようにできている所に気づかせ自己肯定感を高めることの大切さです。授業が終わって、河村先生が「楽しかった」と一言。何より、楽しみながら授業することが一番です。来週は三浦先生が行います。

